

令和4年5月9日

報道機関 御中

## 稲作発祥神話の地

### 「<sup>つき</sup>月の<sup>わでん</sup>輪田」田植えを実施します

京丹後市峰山町二箇区  
二箇区「月の輪田」保存会  
会 長 野 木 達 秋

## 《古くから伝わる三日月の形をした水田で古代米の田植え》

峰山町二箇区では、平成25年より「月の輪田」(※)を活用し、地域の活性化事業を展開しています。

本年も、下記のとおり田植えを実施しますので、お知らせいたします。

- ①日 時 令和4年5月29日(日)
  - ②場 所 二箇公民館、月の輪田  
(京丹後市峰山町二箇245番地)
  - ③内 容 8:30～ 田植え(古代米:赤、紫、黒 約3,600株)  
2時間程度で終了予定です
  - ④参 加 者 二箇区民ほか
  - ⑤主 催 二箇区「月の輪田」保存会・二箇区公民館
- \*駐車場は二箇区公民館をご利用ください

(補足)

食物の神である豊受大神は、太陽の神である天照大神のために稲作を試みたとされています。そのとき初めて粳種を水に浸したのが苗代(なわしろ)の「清水戸」(せいすいど)であり、その粳種を蒔いたところが「月の輪田」といわれています。また、古歌に「いざなぎや 種をひたする清水戸 五穀始まるこれぞ苗代」ともあります。月の輪田は、稲作発祥神話に由来する御田であり、代々の領主は除地としてこれを保護し、毎年身を清めて稲を作り、白米一斗三升を初穂として伊勢神宮に奉納していたそうです。

平成25年6月、半世紀ぶりに「月の輪田」で古代米の田植え行い、11月に収穫(※)。12月に伊勢神宮へ奉納を行いました。それ以降、毎年区民行事として稲作を行っています。

※田植え式にあたり、当時の林芳正農林水産大臣から「瑞穂の国の原点」と称されたご祝電を賜りました。

問い合わせ先  
京丹後市峰山市民局内  
地域づくり支援員 中村 博  
TEL 0772 (69) 0711  
090 3820 3506